

講義名	研究演習Ⅱ（商・経）				
講義コード	55412	授業形態		開講期・曜日・時間	通年 金曜日 5 時限
担当教員	福田 司文			サンパリンク・コード	

学部・学科	演習分野
商学部・経済学部	証券・企業財務

概要説明
経済・経営活動ではお金の流れは大切。会社では事業を発展させるのに資金が必要になります。どのようにしてその金を集めるのか、あるいはどのように返済するのかを考えなければなりません。企業の資金の活用の方略について勉強することがこのゼミの第一の課題です。個々人にとっても、お金があってその金でできるだけ増やしてゆきたい。預金するだけではためなのか、それとも他に何か有利な金融商品があるのだろうか。たとえば、株式とかについて聞くけど大丈夫なのか、やっぱり損をしてしまうのか。ご存しの通り、株式は価値が上がったり下がったりする。そのような金融商品をどのように理解したらよいのか、どのように扱えばよいのかを勉強することが第二の課題です。実際、将来の大問題である年金も、大企業では社員が自分で年金を運用して増やすことが一般的になっています。そのためには、金融商品の知識が不可欠になっています。資金の問題は曖昧さがなく、明確に数字で論じられます。問題を解決するためには、現実を向き合い、冷静に状況を分析し、お金が動く最低限の法則を理解しなければなりません。そのためには、学習が必要なのです。資金問題について皆さんは、何か日常体験的に納得できる実感がありません。それは、多くの学生が余分なたっぷりとした資金を持つという経験がないからです。しかし、将来、そういう事態に必ず直面します。そのためにも今少しは金融系の知識をかじってみて損はないと思います。 福田ゼミで何が学習できるのか 福田ゼミは広く言えば金融に関するゼミです。金融と言ってもマクロ的な金融から個人のミクロ的な金融まで結構広い分野です。その中でも、証券（株式、債券などの金融資産）、企業の金融を中心とするミクロ的な金融について勉強します。株式を代表とする証券の仕組み、株式投資の基本について勉強します。その基礎として、若干の企業会計の基本についての知識も身につけてゆきます。 研究演習Ⅱでは研究演習のⅠの知識を基にして株式や債券という金融手段にをより深く勉強します。これまでと同様、証券や企業財務に関する数値を読み解き、簡単な計算手法を学びながら進めます。
主な卒業論文のタイトル

卒業研究は、経済や経営に関するテーマの中で自由に選んでもらっています。従って、必ずしも財務や金融に関連しているものだけではないです。 たとえば、最近の卒業生は次のようなテーマで研究しました。 N君 “ギャンブルの確率と経済効果” H君 “アパレル業界の現状とセレクトショップ業態のマーケティング戦略” Yさん “不良債権とは一体何なのか” 他の人も様々なテーマで卒業研究をしました。
教員よりの要望

私は証券市場や証券価格について興味をもって研究していますが、ゼミでは株式やその他の金融商品及び金融の諸問題を基礎から理解するように議論してゆきます。基礎知識がないけどこれを機会に勉強してみたいというかた、是非、参加してください。基本的には、テキストを指定してそのテキストにもとづいて、発表・質問の形で理解を深めてゆきます。3年生では裁定されたテーマについて、レポート作成、口頭発表を行います。基本な目標はゼミ生の仲間が助けて、仲良く2年半の大学生活を送ってもらうということです。
選考方法

一にも二にも、証券・金融という分野について勉強する気持ちがあるかどうかです。やる気を評価します、必ず私の研究室で私の印象を確認して選択してください。

評価方法	
ゼミの評価方法は、出席、発表への取り組み等を総合的に判断します。	
教員英字氏名	研究室
Fukuda Shimon	研究棟III 3410研究室
最終学歴	
関西学院大学商学研究科博士課程後期課程	
学位	
商学修士（関西学院大）	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
入門証券論（第3版） 有斐閣コンパクト 2013年 （共著） THE Japanese Stock Market Praeger Publishers 1988年 （共著） コーポレート・ガバナンスと資本市場 税務経理協会 2004年 コーポレート・ファイナンス論の最前線 中央経済社 1995年 他	
趣味・特技	
神戸市在住です。証券のことを教えていますので、株式投資には興味は持っています。ゼミ生の皆さんとは個人的に株式の話題で盛り上がりたりもします。性格は、自分では温厚な性格だと思っています。	
所属	
商学部	
所属学会	
経営財務研究学会 証券経済学会 ファイナンス学会	
専門分野	
企業財務 証券投資 証券市場	
担当科目	
財務管理論、証券論、金融論	
備考	
実務経験の有無及び活用	